

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	3年5月期1Q	13,655,064株	2年5月期	13,173,464株
② 期末自己株式数	3年5月期1Q	5,493株	2年5月期	5,444株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	3年5月期1Q	13,472,537株	2年5月期1Q	12,513,678株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、社会・経済活動が停滞し厳しい状況となりました。世界経済においても新型コロナウイルス感染症拡大の影響や、米中貿易摩擦の長期化などもあり、不透明な状況となりました。

医薬品業界におきましては、平成29年6月閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2017」において「2020年9月までに、後発医薬品の使用割合を80%とし、できる限り早期に達成できるよう、更なる使用促進策を検討する」と明記され、国のジェネリック医薬品使用促進政策が実施されて参りました。さらに令和元年6月閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2019」では「後発医薬品の使用促進について、安定供給や品質の更なる信頼性確保を図りつつ、2020年9月までの後発医薬品使用割合80%の実現に向け、インセンティブ強化も含めて引き続き取り組む」ことが明記され、令和2年4月～6月期には数量シェアが79.3%（日本ジェネリック製薬協会調べ）となり、ジェネリック医薬品の普及は拡大しております。しかしながら、令和元年10月には消費税率引き上げに伴う薬価改定が実施され、令和2年4月には2年に1回の通常の薬価改定が実施されました。また、令和2年7月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2020」において令和3年度の薬価改定について「新型コロナウイルス感染症による影響も勘案して、十分に検討し、決定する」とされているものの、令和3年度の薬価改定、及び毎年薬価改定が実施されることが予定されており、医薬品業界の事業環境は厳しいものとなることが予想され、当社としても一層の経営効率化への努力が求められております。

このような状況のもと、当社グループは生産基盤の充実を図りながら積極的な営業活動を展開いたしました。

売上高の販売品目ごとの業績は次のとおりであります。

原薬では、血圧降下剤原薬及び消炎鎮痛剤原薬等のジェネリック医薬品向け原薬の販売増加があり堅調に推移し、売上高は7,163百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

製剤では、自社開発ジェネリック医薬品、医療用医薬品における新薬や長期収載品の製造受託、一般用医薬品の販売増加があり好調に推移し、売上高は6,478百万円（前年同期比38.6%増）となりました。

健康食品他につきましては、堅調に推移し、売上高は61百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

新型コロナウイルス感染症の流行による当第1四半期連結累計期間への影響は軽微でありました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高13,703百万円（前年同期比17.5%増）、営業利益1,947百万円（前年同期比43.5%増）、経常利益1,965百万円（前年同期比41.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,321百万円（前年同期比43.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より315百万円増加し、54,564百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少593百万円、電子記録債権の減少492百万円、商品及び製品の減少558百万円、仕掛品の減少461百万円などがあった一方で、受取手形及び売掛金の増加1,076百万円、原材料及び貯蔵品の増加1,339百万円などがあったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末より2,172百万円減少し、15,209百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加968百万円があった一方で、電子記録債務の減少508百万円、未払法人税等の減少814百万円、その他の流動負債の減少1,658百万円などがあったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より2,487百万円増加し、39,355百万円となりました。これは主に、資本金の増加800百万円、資本剰余金の増加800百万円、利益剰余金の増加979百万円などがあったことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度より4.2ポイント増加し、71.5%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年5月期（令和2年6月1日～令和3年5月31日）の通期連結業績予想につきましては、令和2年7月10日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和2年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,084,107	2,490,369
受取手形及び売掛金	9,065,546	10,141,906
電子記録債権	6,468,927	5,976,199
商品及び製品	3,482,690	2,924,318
仕掛品	4,236,515	3,775,018
原材料及び貯蔵品	4,411,520	5,750,684
その他	133,206	144,229
貸倒引当金	△27,356	△27,553
流動資産合計	30,855,157	31,175,172
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,163,766	10,197,926
機械装置及び運搬具(純額)	4,977,869	4,999,952
その他(純額)	4,257,967	4,468,894
有形固定資産合計	19,399,603	19,666,772
無形固定資産		
その他	299,353	289,930
無形固定資産合計	299,353	289,930
投資その他の資産		
投資有価証券	3,143,540	3,026,660
その他	569,347	418,409
貸倒引当金	△17,268	△12,153
投資その他の資産合計	3,695,619	3,432,916
固定資産合計	23,394,577	23,389,620
資産合計	54,249,734	54,564,793
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,330,420	5,298,476
電子記録債務	3,858,673	3,350,248
1年内返済予定の長期借入金	1,512,425	1,387,607
未払法人税等	1,302,663	488,325
引当金	91,041	340,215
その他	3,959,122	2,300,227
流動負債合計	15,054,346	13,165,101
固定負債		
長期借入金	1,581,182	1,291,346
退職給付に係る負債	568,226	575,571
その他	177,617	177,039
固定負債合計	2,327,026	2,043,956
負債合計	17,381,372	15,209,057

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和2年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,370,181	6,170,445
資本剰余金	5,256,371	6,056,636
利益剰余金	24,742,928	25,721,967
自己株式	△13,411	△13,584
株主資本合計	35,356,070	37,935,465
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,051,667	971,871
為替換算調整勘定	128,681	120,843
退職給付に係る調整累計額	△30,768	△23,076
その他の包括利益累計額合計	1,149,580	1,069,638
新株予約権	3,562	417
非支配株主持分	359,148	350,213
純資産合計	36,868,361	39,355,735
負債純資産合計	54,249,734	54,564,793

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和元年6月1日 至 令和元年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和2年6月1日 至 令和2年8月31日)
売上高	11,658,182	13,703,504
売上原価	9,426,570	10,564,485
売上総利益	2,231,612	3,139,019
返品調整引当金戻入額	947	422
差引売上総利益	2,232,560	3,139,441
販売費及び一般管理費	875,903	1,192,104
営業利益	1,356,657	1,947,337
営業外収益		
受取利息	200	303
受取配当金	33,879	29,869
為替差益	8,367	-
その他	3,782	7,498
営業外収益合計	46,229	37,672
営業外費用		
支払利息	3,757	1,976
為替差損	-	9,556
支払手数料	3,627	3,952
その他	3,072	4,325
営業外費用合計	10,456	19,811
経常利益	1,392,429	1,965,198
特別利益		
固定資産売却益	49	-
補助金収入	1,300	-
特別利益合計	1,349	-
特別損失		
固定資産除却損	0	5,547
投資有価証券評価損	15,153	-
特別損失合計	15,153	5,547
税金等調整前四半期純利益	1,378,626	1,959,651
法人税等	466,901	644,257
四半期純利益	911,724	1,315,393
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,629	△6,013
親会社株主に帰属する四半期純利益	920,354	1,321,407

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和元年6月1日 至 令和元年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和2年6月1日 至 令和2年8月31日)
四半期純利益	911,724	1,315,393
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,293	△79,796
為替換算調整勘定	△64,638	△10,759
退職給付に係る調整額	△2,235	7,692
その他の包括利益合計	△37,580	△82,863
四半期包括利益	874,144	1,232,530
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	901,831	1,241,465
非支配株主に係る四半期包括利益	△27,686	△8,934

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、行使価額修正条項付新株予約権付社債券等に係る新株予約権の行使に伴い、資本金800,264千円、資本剰余金800,264千円がそれぞれ増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において、資本金6,170,445千円及び資本剰余金6,056,636千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 令和元年6月1日 至 令和元年8月31日)

当社の報告セグメントは、「医薬品事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 令和2年6月1日 至 令和2年8月31日)

当社の報告セグメントは、「医薬品事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。